KENPOKU ART 2016

茨城県北芸術祭

2016.9.17–11.20

日立市／高萩市／北茨城市／常陸太田市／常陸大宮市／大子町

主催：茨城県北芸術祭実行委員会

www.kenpoku-art.jp

落合陽一《コロイドディスプレイ》

イリヤ＆エミリア・カバコフ《落ちてきた空》

海か、山か、芸術か？

豊かな自然と常陸国風土記の時代か
県北の自然、歴史、文化を学び、地域

A 妹島和世

金沢21世紀美術館の設計など、透明感のある作風で国際的に知られる建築家（日立市出身）が、初めて足湯の設計を手がける →【旧浅川温泉】

《サーペンタイン・ギャラリー・パビリオン》2009 ©SANAA

B ザドック・ベン＝デイヴィッド

動物や植物のシルエットをミニチュア化したものが大量に立っている。静けさと驚きに満ちた世界
→【旧家和楽青少年の家】

《Blackfield》2010 テルアビブ美術館
Photo: Avi Hai

C 落合陽一

シャボン玉の被膜の上に、蝶が羽ばたく。「現代の魔法使い」と呼ばれるアーティストが作り出す、不思議な作品が登場
→【旧美和中学校】

《コロイドディスプレイ》2012/2016

D BCL

バイオアートの最先端で注目されるアーティストチームが、県北の自然素材を調査し、新たなアートを創出する →【旧常陸太田市自然休養村管理センター】

《Oubiopo》2015
「デジタル・ショック」アンスティテュ・フランセ東京
Photo: Yuki Yoshioka（BCL）

E 原高史

レトロな街並みが美しい鯨ヶ丘商店街で、家々の窓が鮮やかなピンク色に変貌。街や個人の記憶が語られる
→【梅津会館前窓、鯨ヶ丘商店街全域】

《Signs of Memory》2010 MOCA Taipei

山 奥久慈清流エリア

【常陸大宮市】【大子町】

芸術祭の「山」側の展示地域。豊かな森と清流のあいだには明治～昭和期の建物が残る町もある。和紙や漆などの工芸も盛んでギャラリーもあり、都会では体験できない緩やかな時間のなかで、アートや食が楽しめる。

山 常陸太田鯨ヶ丘エリア

【常陸太田市】

徳川光圀公ゆかりの地である常陸太田の鯨ヶ丘地区は、レトロな街並みが残る商店街に、カフェや雑貨店、ギャラリーなども点在。足を伸ばせば里山の風景が広がり、自然の中で体験できるアートも展開される。

● 展示会場
※展示場所は変更の可能性があります　0　10km

【参加予定作家】青崎伸孝／AKI INOMATA／飴屋法水／イアン・カルロ・ハウシャン／イザベル・デジュー／石田尚志／伊藤公象／茨城デザイン振興協議会（公募）／イリヤ＆エミリア・カバコフ／岩崎秀雄+metaPhorest／上野雄次／ヴェンザ・クリスト／内海聖史／エレナ・トゥタッチコワ／岡村美紀／落合陽一／オロン・カッツ／河口洋一郎／加藤増田齋藤岩沢（KMSI）（ハッカソン）／CALAR.ink（ハッカソン）／干渉する浮遊体（ハッカソン）／北澤潤／木下真理子／木本圭子／國安孝昌／Composit／Sound of TapBoard（ハッカソン）／榊原澄人／佐藤悠／ザドック・ベン＝デイヴィッド／サンドリン・ロウケット／塩谷良太／ジャン・ワン／シュシ・スライマン／ジョン・ヘリョン／鈴木浩之+大木真人（公募）／須田悦弘／スッシリー・プイオック／SPREAD／妹島和世／secca／ソンミン・アン／タクシナー・ピピトゥクル／田中信太郎／タワッシャイ・プンサワッ／力石咲／チームラボ／津田翔平／テア・マキパー／ティファニー・チュン／デビー・ハン／東京藝術大学／中崎透／ニティパク・サムセン／ニパン・オラニウェー／バチルス・エボルトゥス（ハッカソン）／林剛人丸（公募）／原高史／ハンス・ペーター・クーン／BCL／ピーター・フェルメーシュ／ピウス・シギット・クンチョロー／日比野克彦／深澤孝史（公募）／藤浩志／magma／マシュー・ジェンセン／松井靖果（公募）／松本美枝子／ミトゥ・セン／三原聡一郎／ミヒャエル・ボイトラー／宮原克人（公募）／村上史明（公募）／森山茜／やくしまるえつこ／山本美希／柚木恵介（公募）／米谷健+ジュリア／ラファエル・ローゼンダール／レ＝トゥア・ティエン／和田永／ワン・テユ

らの歴史・文化に恵まれた茨城県北6市町で、茨城県北芸術祭が始まります。作品の多くは、アーティストたちが、の人々と対話することで生み出されます。アートや最先端の科学技術と地域との出会いが、新しいアートを創出します。

海 五浦・高萩海浜エリア
【北茨城市】【高萩市】

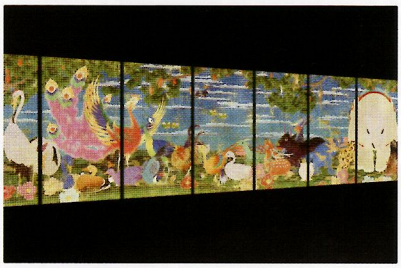
芸術祭の「海」側を象徴する展示地域。青い海と白砂の浜が美しい海岸地帯が広がる。日本近代美術の祖・岡倉天心ゆかりの六角堂、豪農の旧宅である穂積家住宅など、歴史と文化の薫る地でもある。

海 日立駅周辺エリア
【日立市】

日立鉱山や大煙突に象徴される日本の近代産業の礎の地。地域の賑わいを創った商店街は、今も人々の暮らしを支えている。玄関口である日立駅舎は世界で活躍する妹島和世のデザイン監修。

F チームラボ

テクノロジーを用いたアートを発表するウルトラテクノロジスト集団が、岡倉天心の追求した東洋の美に現代の視点から挑む→【茨城県天心記念五浦美術館】



《Nirvana》2013

G イリヤ＆エミリア・カバコフ

旧ソ連出身の世界的アーティスト。嵐によって吹き飛ばされた空のかけらが砂浜に突き刺さる大型彫刻
→【高戸海岸】

《落ちてきた空》1995/2016

H 森山茜

薄く軽い布や繊維を使った構造体を宙に浮かべるアーティストが、御岩神社の清澄な森林空間を繊細に変容させる
→【御岩神社】

《Cubic Prism》2013
photo: Akane Moriyama

I テア・マキパー

意表をつく手法で人間と環境の関係を問うアーティスト。植物と動物たちの暮らす大型バスが都市空間に現れる
→【日立駅前】

《Biotope-to-go》2011
Gråbrødre Torv, Copenhagen, Denmark
Commissioned by MAD Foodcamp Festival 2011
photo: Tea Mäkipää

J 和田永

古い家電を楽器としてよみがえらせてきたアーティスト。家電生産の聖地、日立で市民と共に楽器を作り、オーケストラを編成する →【常陸多賀駅前商店街】

Meets KENPOKU ワークショップでの
ブラウン管TV演奏の様子　2016
photo: 山野井咲里

KENPOKU ART 作品の特徴

- **自然** 海岸や滝、棚田など県北地域の豊かな自然を楽しみながら鑑賞できる大型の野外作品を展示します
- **地域** アーティストが地域の人々と対話し、協力して作り上げるプロジェクト型の作品
- **公募** 茨城県ゆかりの作家を対象に行った作品公募で107点から選出された8作品を発表します
- **科学** 県北地域の自然や産業と呼応するバイオアート、メディアアートが登場します
- **革新** 革新的なアイデアや表現を生み出すワークショップ「ハッカソン」から誕生した作品を多数展示
- **大学** 茨城大学、東京藝術大学、筑波大学と連携し、若々しいアートの挑戦を行います

Meets KENPOKU

「県北と出会い、人と出会う」をコンセプトに、芸術祭会期前から期間中を通じて、芸術祭参加アーティストが、子どもたちからお年寄りまで地域の住民や参加者と様々な制作活動等を行います。日常生活の中で、アートを楽しむ新しい取り組みです。開催日時や場所など、詳細はWebサイトをご覧ください。

ディレクターメッセージ

2016年秋、茨城県北地域の6市町の海と山を舞台に「茨城県北芸術祭」が開催されます。県北は、美しい太平洋の海原と、緑豊かな里山の自然に恵まれた風光明媚な地域です。また一方で、この地域では早くから炭鉱や鉱山が開かれ、明治期には基幹産業やインフラが発展し、現代にいたるまで日本の経済と近代化を担ってきました。さらに、県内には筑波大学や様々な研究機関が所在し、1985年には科学万博が開催されるなど、科学・技術とも深い関わりがあります。そこでこの芸術祭では、自然と対話するアート、科学・技術を利用した先進的なアートに焦点を当てます。さらに、多分野の人々と共同で作品を創り出すアートハッカソン、地域の人々とのコラボレーション、県独自のアーティスト滞在プログラム"ARCUS"との協働、県内諸大学との連携など、地域に根ざした創造活動を実践します。アートと科学・技術の実験を通して、茨城県北地域の豊かな自然と人々の生活に新たな創造の息吹を吹き込むこの芸術祭にぜひご期待ください。

KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭　総合ディレクター　南條 史生

作品鑑賞パスポート

「作品鑑賞パスポート」は、会期中、茨城県北芸術祭の作品を鑑賞できるおトクなチケットです。茨城県北全地域の、約100の芸術作品をお楽しみいただけます。

［販売価格］一般：2500円（前売り2000円）
学生・高齢者（65歳以上）：1500円（前売り1000円）
中学生以下・障害者手帳などをご持参の方：無料
※会期中、インフォメーションセンター等で販売
※前売り引換券は7月上旬よりプレイガイド等で販売開始

公式ガイドブック

茨城県北芸術祭の見どころや、各市町に展開される芸術作品のガイドはもちろん、飲食店情報や、現地までのアクセス情報、宿泊情報など、茨城県北芸術祭を巡るための必携アイテム、公式ガイドブックを8月下旬から全国の書店で販売します！ぜひお買い求めください！

［販売予価］1300円　※価格は税込
［出版］生活の友社

県北エリアへ、自動車でのアクセス

■常磐自動車道日立中央ICより日立駅舎まで約10分〈日立駅周辺エリア〉
■高萩ICより穂積家住宅まで約1分、北茨城ICより茨城県天心記念五浦美術館まで約15分〈五浦・高萩海浜エリア〉
■那珂ICより旧家和楽青少年の家まで約40分、常陸大子駅前まで約60分〈奥久慈清流エリア〉
■日立南太田ICより鯨ヶ丘まで約15分〈常陸太田鯨ヶ丘エリア〉

県北エリアへ、公共交通機関でのアクセス

サポーター募集中！　www.kenpoku-art.jp

アートに興味がある方、芸術祭に積極的に関わってみたい方、いろいろな人と交流をしたい方、地域活動に興味がある方…作品づくりのお手伝いや、会場の運営など様々な活動を通して、この芸術祭を一緒につくっていきませんか？申込方法、応募条件などについては公式ホームページをご覧ください。

【会期】2016年9月17日（土）～11月20日（日）［65日間］
【会場】日立市、高萩市、北茨城市、常陸太田市、常陸大宮市、大子町
【主催】茨城県北芸術祭実行委員会（会長 茨城県知事 橋本昌）
【各種お問合せ】茨城県北芸術祭実行委員会事務局
（茨城県企画部県北振興課内）〒310-8555茨城県水戸市笠原町978番6
Tel:029-301-2727　Fax:029-301-2738　Email:info@kenpoku-art.jp
茨城県北芸術祭実行委員会東京事務局（エヌ・アンド・エー（株）内）
Tel:03-5545-3627　Fax:03-5545-3628